

文集を読むみなさんへ

○ 「へんだな。」「これでいいのだろうか。」と思つた点について、いろいろな立場からよく考え、自分の意見を述べていること。

一 この文集には、次のようなことが書かれた作文をのせています。

○ 「自分も、ほかの一人一人も、みんな大切なちをもつた人間なのだ。」と考へていている。

○ 人間が人間を苦しめている「まちがい」に気付き、ゆるしてはならないと考へていている。

○ まちがいを直すために、自分はどうしたらよいのか、どんな学級や社会にしていくたらよいのかを考え、行動しようとしている。

三 この文集から学んだことをもとにして身のまわりのことがらを見つめ、作文を書いてみましょう。

○ 書くことを通して、ふだん疑問に思っていたことをはつきりさせ、それについての自分の考えを確かめる。

○ 自分のまわりの人の考え方、生活の仕方について気付いたことを、できるだけくわしく書く。

二 作文を読んで次のことを学びとり、自分の問題として考え方達と話し合ってみましょう。

○ 作者が、自分となかまとの生活についてありのままくわしく見つめていること。

掲載作品の中には、一般的には当事者を蔑視したり差別したりするような言葉が使われているものがありますが、作者の意図を尊重し、一部原文のまま掲載しています。